

ファームレポート 7月

7月、ブドウ畑には国蝶オオムラサキが舞っています。北杜市にはオオムラサキセンターが在り、ここ須玉町の隣の長坂町は全国一の生息地であります。昆虫採集に夢中になっていた少年時代、関西では見たことがないような数多くのオオムラサキが同時に舞う姿は壮観であります。

農場からの第2回目の報告を致します。

山梨県では7月17日に梅雨が明け、ブドウ樹の病気が多発するこの時季を乗り切りました。心配されたベト病も抑え込み、少し安心したところでした。

6月に報告致しました、生育の遅れた苗木も追肥の効果が出て、葉の色も良くなり、生育にも勢いが出てきました。梅雨明けと同時に勢いよく伸び始めたのはブドウの枝だけではなく雑草の生育も凄まじく、草刈と新梢管理作業〈誘引・副梢管理〉に追われる毎日を送っております。

また、コガネムシやガの幼虫による葉の食害も少しではありますが、目につくようになりました

引き続き8月は、新梢管理作業の他、草刈と病気・害虫の予防を心掛け、ブドウ樹が健全な生育をするように作業を進めて参ります。